

平成 17 年 11 月 18 日

各 位

上場会社名 株式会社 村上開明堂
 代表者名 取締役社長 武藤 忠義
 コード番号 7292 東証第 2 部
 問合せ先 常務取締役経理部長
 小川 忠彦
 TEL(054) - 286 - 2161

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 20 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1 . (個別) 通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円, %)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 20 日発表)	42,500	1,050	630
今回修正予想 (B)	44,900	850	1,900
増減額 (B - A)	2,400	200	2,530
増減率 (%)	5.6	19.0	-
前期(平成 17 年 3 月期)実績	41,514	1,021	610

2 . (連結) 通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円, %)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 20 日発表)	48,500	1,350	650
今回修正予想 (B)	51,500	800	600
増減額 (B - A)	3,000	550	1,250
増減率 (%)	6.2	40.7	-
前期(平成 17 年 3 月期)実績	45,322	647	61

3 . 修正の理由

(1) 個別業績

ミラーシステム事業部門において、主力の自動車用バックミラーの売上高は当初予想を上回る見込みとなりましたが、中間期において原油価格高騰などの影響により原材料費が高止まり、原価の低減が計画通り進みませんでした。またオプトロニクス関連分野でも、新規製品の立上げロスが発生したことなどにより、下期においても収益見通しに大きな変化が見込めないことから、経常利益、当期純利益共、前回予想値を下回る見込みとなりましたので業績予想を修正いたします。

また、北米子会社「Murakami Manufacturing U.S.A. Inc.」は、収益改善の努力を行なってまいりましたが、当上期の収益改善遅れから当初の利益計画の達成が困難と判断し、中間期に關係会社株式評価損 2,277 百万円を特別損失で計上したことなどにより、通期でも当期純利益は予想値を大きく下回る見通しとなりました。

(2) 連結業績

経常利益は、個別業績が減益となる見込みであること、また北米子会社「Murakami Manufacturing U.S.A. Inc.」の業績回復遅れなどにより前回予想値を下回る見通しであります。

また北米子会社では今中間期決算において固定資産の減損処理を特別損失を 491 百万円計上したため、通期での当期純利益も個別業績と同様に予想値を大きく下回る見通しとなりました。

以上